

リニアテクノロジー、新製品「LTC2635」を販売開始

電源マーージングのためのハイ・インピーダンス出力リセット機能を備えた、リファレンス内蔵のクワッド
12ビット / 10ビット / 8ビット・レール・トゥ・レール¹°C DAC

2009年12月9日 - 高性能アナログICのリーディングカンパニーであるリニアテクノロジーは、小型 3mm x 3mm QFN およびMSOPパッケージに10ppm/°Cの高精度リファレンスを搭載した、クワッド12ビット、10ビットおよび8ビットD/Aコンバータ(DAC)「LTC2635」の販売を開始しました。LTC2635はいずれも車載(-40°C~+125°C) およびコマーシャル(0°C~+70°C) 温度範囲で動作することが保証されており、1,000個時の参考単価は203円(税込み)からで、リニアテクノロジー国内販売代理店各社経由で販売されます。製品の詳細は、www.linear-tech.co.jp をご覧ください。

LTC2635は、発注オプションとして2.5V (LTC2635-L)または4.096V (LTC2635-H)のDACフルスケール出力を選択できます。また、ゼロスケールまたはミッドスケールへのパワーオン・リセットを選択できるほか、LTC2635-Lにはパワーオン・リセット時とシャットダウン時に出力がハイ・インピーダンス状態になる発注オプションもあります。この機能によりLTC2635は、電源電圧を上下に調整するため動作を開始するまでは、パワーオン時に、DAC 出力が電源から電氣的に絶縁されていなければならない電源マーージングなどのアプリケーションで使用可能です。

小型で、リファレンス内蔵という特長をもつLTC2635は、産業用、車載、ATEの各種アプリケーションに最適です。LTC2635はINL誤差が±2.5LSB (最大)という優れた12ビット性能を達成しています。クロストークが3nV-sなので、あるDACの電圧変化が他のDACに与える影響を最小に抑えます。LTC2635は2.7V~5.5Vの単一電源で動作し、消費電流はわずか125μA/ DACです。

分解能は3種類から選択でき、フルスケール範囲は2.5Vまたは4.096Vのいずれかを選択可能なうえ、パワーアップ時の出力リセットはゼロスケール、ミッドスケールまたはハイ・インピーダンスのいずれかを選択可能です。16ピン3mm x 3mm QFNパッケージ・バージョンは、ハードウェア・ロードDAC (LDAC)ピン、27種類の固有I²Cアドレスのいずれかを選択できる3本のアドレス・ピン、そしてREFLOピンを搭載しています。10ピンMSOP パッケージ・バージョンは、1本のアドレス・ピンだけでI²Cバス上の3種類の固有アドレスを選択します。

フォトキャプション: Hi-Z リセット付き12/10/8ビット、クワッドDAC

電源マーキングのためのハイ・インピーダンス出力リセット機能を備えた、リファレンス内蔵のクワッド12ビット /10ビット /8ビット・レール・トゥ・レール² DAC

型名	ビット	DAC	I/O	リファレンス	パッケージ
LTC2637	12、10、8	8	I ² C	入力または出力	4mm x 3mm DFN-14、 MSOP-16
LTC2636	12、10、8	8	SPI	入力または出力	4mm x 3mm DFN-14、 MSOP-16
LTC2635	12、10、8	4	I ² C	入力または出力	3mm x 3mm QFN-16、 MSOP-10
LTC2634	12、10、8	4	SPI	入力または出力	3mm x 3mm QFN-16、 MSOP-10
LTC2631	12、10、8	1	I ² C	入力または出力	TSOT23-8
LTC2630	12、10、8	1	SPI	内部のみ、またはV _{CC}	SC70-6
LTC2640	12、10、8	1	SPI	入力または出力	TSOT23-8

LTC2635の特長:

- 高精度リファレンスを内蔵:
2.5V フルスケール10ppm/°C (LTC2635-L)
4.096V フルスケール10ppm/°C (LTC2635-H)
- 最大INL 誤差(12ビット): ±2.5LSB
- ピンおよびソフトウェア互換のI²C DAC
- -40°C~+125°Cの温度範囲で単調性を保証
- 非常に小さいDAC間クロストーク(3nV-s)
- 低ノイズ(0.75mV_{p-p}、0.1Hz~200kHz)
- 内部リファレンスまたは外部リファレンスを選択可能
- 2.7V~5.5Vの電源範囲(LTC2635-L)
- 低消費電力動作: 125 μA / DAC
- ゼロスケール、ミッドスケールまたはHi-Z にパワーオン・リセット
- 小型3mm x 3mm QFN-16 & MSOP-10 パッケージ

リニアテクノロジーについて

リニアテクノロジー(Linear Technology Corporation, Nasdaq: LLTC、本社: カリフォルニア州ミルピタス)は1981年の設立以来、高性能アンプ、コンパレータ、電圧リファレンス、モノリシック・フィルタ、リニア・レギュレータ、DC/DCコンバータ、バッテリー・チャージャー、データ・コンバータ、コミュニケーション・インターフェースIC、高周波信号コンディショニングIC、μ Moduleなど、多岐にわたる高性能アナログ半導体を提供しています。リニアテクノロジーの高性能アナログ半導体は通信、携帯電話、各種ネットワーク製品、コンピュータ、コンピュータ周辺機器、ビデオ/マルチメディア、産業計測、セキュリティをはじめ、デジタルカメラ、MP3プ

電源マーキングのためのハイ・インピーダンス出力リセット機能を備えた、リファレンス内蔵のクワッド12ビット /10ビット /8ビット・レール・トゥ・レール²C DAC

レーヤー、医療、自動車向け電子部品、FA、プロセス制御、軍需・防衛に至る、あらゆる分野で使用されています。リニアテクノロジーは1986年に株式公開、2000年にはS & P500企業に選ばれています。

LT, LTC, LTM, μ Module 及び会社ロゴはLinear Technology Corporationの登録商標です。その他の登録商標・商標は、それぞれの所有者にその権利が帰属します。記載内容は予告なしに変更される場合があります。

メディアの方お問い合わせ先:

ミアキス・アソシエイツ 河西（かさい）

TEL: 0422-47-5319 Email: linear-pr@miacis.com

記事掲載時お問合せ先:

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-6 秀和紀尾井町パークビル8F

リニアテクノロジー株式会社 TEL: 03-5226-7291(代表) www.linear-tech.co.jp

本社メディア担当者

John Hamburger, Director Marketing Communications

jhamburger@linear.com

408-432-1900 ext 2419

Doug Dickinson, Media Relations Manager

ddickinson@linear.com

408-432-1900 ext 2233

以上